
高校探究科

No. 01-2 (K3)

年	3	組		番		名前	
---	---	---	--	---	--	----	--

1. レジューメの作成

【見本】

幼児期の教育や環境で人格は変わるのか？

K3B (00) ○○△△

1. はじめに

- ・疑問「一人一人考え方や性格、好きな物、嫌いな物が違うのはなぜだろう？」
→仮説「6歳までの幼児期の教育、環境が人格形成に影響をあたえるのではないか？」

2. 調査

(1) 性格・人格は後天的に獲得される

- ・人格とは、独立した個人としてのその人の人間性。その人固有の人間としてのありかた。
- ・運動能力や体形は遺伝的影響を多く受けるのに対し、性格や学力は環境の影響を多く受けるとされる

(2) 幼児期の発達の特徴

- ・身近な人や周囲の物、自然などの環境とかかわりを深め、興味・関心の対象を広げ、認識の社会性を発達させていく
- ・食事や排泄、睡眠といった基本的な生活習慣を獲得し、子ども同士で遊ぶことなどを通じ、豊かな想像力をはぐくむ
- ・自らと違う他者の存在や視点に気づき、相手の気持ちになって考えたり、時には葛藤をおぼえたりする中で、自分の感情や意志を表現しながら、協同的な学びを通じ、十分な自己の発揮と他者の受容を経験していく。
- ・体験を通じ、道徳性や社会性の基盤がはぐくまれていく。(子供の徳育に関する懇談会資料)

(2) 幼児期の環境と人格形成に関する先行研究

- ・養育者の育児に関する考え方や「どのような子供に育てたいか」という養育姿勢は、日々の相互作用を通して子供の個性にも影響されて変容していく。(清水)
-

3. 考察

- ・(1) より、人格の要素である性格や行動は後天的に獲得される要素が大きい
- ・(2) より、幼児期は認識や社会性、想像力、他者との関り、社会性の基盤が育まれる時期
- ・(3) の調査より、保護者など養育者の考え方や姿勢は、子供の個性にも影響するといえる

4. 結論

- ・幼児期の教育や環境は人格形成に影響を与えるといえる。
考察でのべたように、幼児期が.....という時期であり、養育者の考え方や姿勢が個性にも影響しやすい。自分自身の経験から言っても、親の言葉や関りの影響は大きい。
しかし人間は成長し続ける存在であるから、以降の教育や環境の影響も大きい。

<参考文献>

- △△△, 2014, 「.....(書名)」○○出版
- 文部科学省, 2012, 「子どもの徳育の充実に向けた在り方について (報告)」
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/053/gaiyou/attach/1286156.htm

(2023.4.18 確認)

タイトルは疑問形にして目的を明確に

はじめにでは、そのテーマを調べようと思った理由・知りたいことを箇条書きで

次に調べたことを書いていく。レジューメでは文章ではなくポイント・見出しを箇条書きで書いていく

小見出しや(1)など番号をふると読みやすく整理できる

参考: 数字・データは説得力があるので書いておこう! 表を使って整理してもよい

調査したことからわかったことを書く

結論は設定したテーマの答えを書く

最後に調べるのに使った本やWEBサイトは書いておこう。

基本的な書き方の例

Webは確認日も書く

2. レジューメ作成作業の記録を付けよう！

STEP1 レジューメ作成中の記録・振り返りを付けよう。

	作業の記録（箇条書きで3行以上） （例）・〇〇について調べた ・はじめにを〇〇行書いた	振り返り（箇条書きで2行以上） ・この時間の活動で学んだこと・知ったこと ・考えたことを書く
1回目		
2回目		
3回目		
4回目		

